

めざせ！ 苗場山麓ジオパーク

Vol.
5

振興協議会だより

【発行日】平成26年3月11日

【発行】めざせ！苗場山麓ジオパーク推進準備室



振興協議会と学術委員会の合同会議が開かれました

2月26日、振興協議会と学術委員会の合同会議が開催されました。

日本ジオパーク委員会の副委員長である町田洋先生をお招きし「期待を込めて：苗場山麓ジオパーク構想」ということでご講演いただきました。

町田先生は、火山・火山灰の研究の第1人者で、ひろく人の歴史と地球の環境変化の重要性を伝えようと活動されています。当地域にも研究のために何度も来訪されていて、地形・地質にも深い見識をお持ちです。

町田先生からは、当地域の「雪」や「河岸段丘」「川」など大地と気候変動などと関連している特色や申請への準備として重要なことなどをお話いただきました。

そして、知識を自分の言葉で話す事ができ、複数の学説を紹介することで話に厚みや重みをもたせることのできるガイドの重要性も説かれました。

各地のジオパークを、審査、訪問されている町田先生に対し、委員からの「心に残っているジオ関連商品は？」などの質問にも丁寧にご返答くださり、「それぞれのジオパークががんばってはいるが、目新しく開発された商品よりも、特産品や伝統食などを活かした方が魅力的だと思う」と、意見をくださいました。

また、学術委員を代表し島津光夫委員長・小林達雄先生にもパネラーとしてディスカッションにご参加いただき、貴重なお意見をいただきました。

このディスカッションは一般公開され、平日の昼間でしが数名の方が傍聴してくださいました。

さらに、会議後懇親会が催され様々な意見交換、情報交換がなされました。

この会議の様子は、当日の夕方BSNのニュースで放送されました。

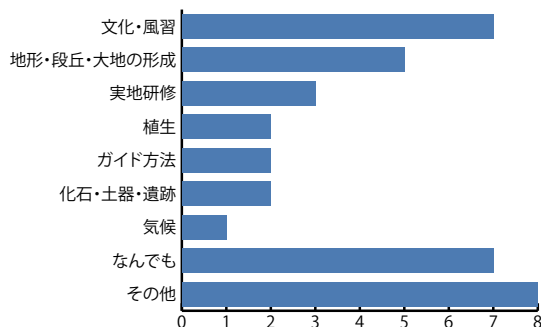


ジオパークガイド養成講座でアンケートを実施しました

第3回ジオパークガイド養成講座にてアンケートを実施し、苗場山麓ジオパークで特に知りたいこと・興味があること、講座や苗場山麓ジオパークに対するご意見ご感想や改善点などを、幅広く自由にお聞かせいただきました。

アンケートは今後も実施し、運営に役立ててまいります。

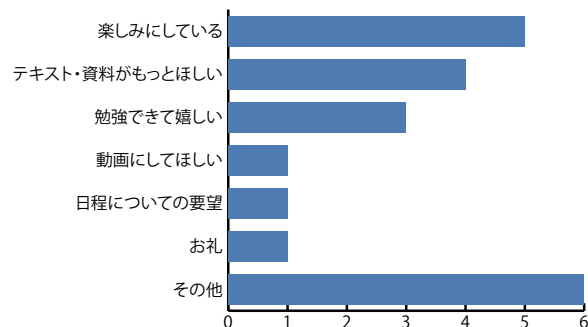
Q 苗場山麓ジオパークについて興味のあること、今後勉強したいことは何ですか？



● 具体的なご意見

- 当地域の気象（雪）の歴史
- 秋山郷の民俗
- 雪と人類の生活様式
- 信濃川の左岸と右岸の違い
- 津南の大地の成り立ち など

Q 苗場山麓ジオパーク及びガイド養成講座についてのご意見・ご要望があればお聞かせください。



● 具体的なご意見

- 専門用語がわからなかった
- スクリーンが見えにくかった
- 段丘のできる仕組みを平易に説明する方法を考えたい
- 第1回から最終回まで1冊にまとめたガイド養成講座集を製本してほしい
- ネットで講座をもう一度見られれば良い など

COLUMN

大地の息吹と 現代を結ぶ

河岸段丘のできかた ～私たちが暮らす大地～

中津川の両岸には、河岸段丘が広がっています。現在見ることができる河岸段丘は、約43万年かけて大地の隆起と中津川によって形成されました。また、氷河期と間氷期といった環境変化とも大きく関連しています。そして、現在の形になったのがおよそ1万年前です。河岸段丘は平坦な段丘面と段丘の境である段丘崖によって形成されます。この段丘には、日本列島各地で噴火し、風に乗ってやってきた火山灰が堆積しています。その火山灰によって段丘のできた時期がわかります。

段丘崖のすぐ下には、多くの湧水が点在しています。この豊かな湧水によって多様な生態環境が育まれます。そしてそこに森と共生した縄文文化が花開きます。火焰型土器をはじめとする造形集団のムラが作られていくのです。

また、この湧水は現在の私達の暮らしにも無くてはならないものです。美味しい魚沼産コシヒカリや酒づくりに利用されています。

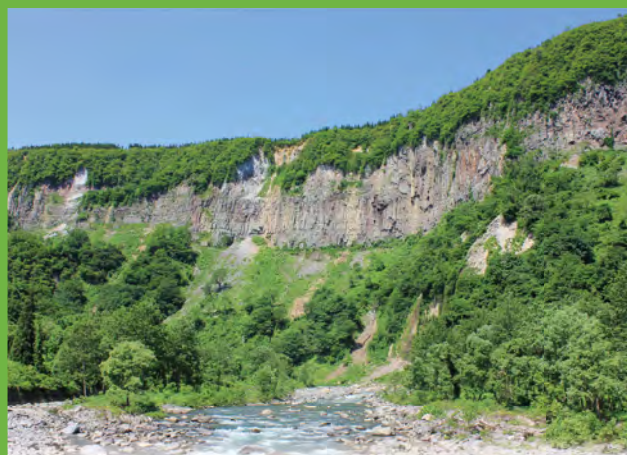


マウンテンパーク津南から見た河岸段丘

めざせ！ 苗場山麓ジオパークのジオサイト

57 の見どころを随時紹介していきます

石 落 し



所在地 津南町

種 別 地質

中津川の中流、左岸を覆い尽くす見事な柱状節理による岩屏風があります。この柱状節理は、中津川兩岸で見ることができ、かつてこの溶岩が繋がっていた事を示します。そして長い年月をかけ中津川によって浸食を受け、現在の様相となりました。苗場溶岩の分布と川の浸食のすばらしさを体感できるすばらしいサイトです。この岩屏風は、上から赤土層、柱状節理岩肌、崩落礫堆積層に大きく分類され、この柱状節理岩層は、苗場第Ⅱ期溶岩です。崩落礫堆積層に隠れていますが、柱状節理岩層の下には日本海堆積物である魚沼層群層があります。この魚沼層群は地下水を通しづらいことから、柱状節理岩層と魚沼層群との境に湧水地点が形成します。雪どけ時期になるとゴーゴーと音を立てて、龍の口のような湧水地点から地下水が流れ落ちます。また、柱状節理岩層が崩れ、ガラガラと音をたてて落ちることから「石落とし」という地名が付いたようです。

大 瀬 の 滝



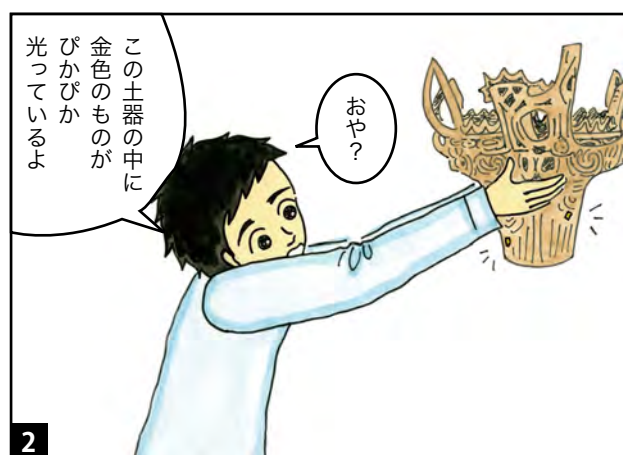
所在地 栄村小赤沢

種 別 地質

小赤沢集落から続く苗場山登山道沿いに諏訪神社があります。そこから 30m 程歩くと「大瀬の滝」があります。約 15m の落差があり、結東層の中の玄武岩の水冷破碎溶岩（ハイアロクラスタイト）と呼ばれる固い岩石が滝を形成しています。この岩石は蛇淵の滝を構成する岩石と同じものです。

この他に「タル山の滝」「夫婦滝」など、苗場山麓にはこのような滝が多く点在しています。

※地質学の学説は複数あり、現在も研究が続いています。そして、本地域の調査研究がこれからも行われる必要があります。



※黒雲母…谷上段丘面の下層に堆積しているバイオタイトローム層に含まれ風化で金色に変色したものです。

今後のスケジュール

- 平成 26 年 3 月 11 日 住民説明会（上段地区 会場：赤沢公民館）
- 3 月 13 日 住民説明会（三里地区 会場：上野公民館）
- 3 月 18 日 住民説明会（寺石地区 会場：寺石公民館）
- 3 月 19 日 ジオパーク説明会（飲食店、商店、旅館向け）
- 3 月 19 日 ジオパークガイド養成講座 第 5 回
- 3 月 20 日 住民説明会（大井平地区 会場：大井平公民館）
- 3 月 25 日 住民説明会（宮野原地区 会場：宮野原公民館）
- 3 月 31 日 日本ジオパーク申請書提出締め切り
- 4 月 30 日 日本地球惑星科学連合大会において公開プレゼンテーション
- 5 月～7 月 日本ジオパーク現地審査

PICK UP!

飲食店・商店・旅館向けジオパーク説明会

3 月 19 日午後 2 時から津南町役場 3 階大会議室において宿泊施設、飲食店、商店などを対象とした苗場山麓ジオパーク構想説明会を開催いたします。来訪者と接する機会の多い施設や商店の皆様にジオパークについて理解していただき、お客さまの対応に活かしていただくためにと考えております。